

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		島根県立大学			設置者名	公立大学法人島根県立大学		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成27年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
総合政策 学部	総合政策学科	220人	高一種免(公民)	平成12年度	236人	3人	1人	0人
			高一種免(英語)	平成19年度			2人	
入学定員合計		220人	合計		236人	3人	3人	0人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成28年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成28年12月5日（月）

実地視察大学：島根県立大学

実地視察委員：酒井朗委員，谷田増幸委員，佐々祐之委員

【全般的事項】

- 一部の教育課程について、「2.」で指摘するように，教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等の観点からは是正すべき点を確認されたため，速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 大学全体の中での教員養成の位置づけや，教員養成に対する理念・構想が十分に示されていないので，今後の改革の中で，明確化し，全学に徹底させること。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 大学における教員養成として，大学の学科等に置かれる教職課程は，各学科等の目的・性格と免許状との相当関係について審査の上，その学科等の学位プログラムとしての各科目内容と教育職員免許法施行規則に定める各科目内容の修得によって，教員としての専門性が担保されることが確認されて初めて認定されるものである。総合政策学科は公民と英語の高等学校教諭免許状を取得可能としているものの，英語の「教科に関する科目」及び関連科目が語学区分や教養区分に配置されており，英語教員としての専門性が担保できているように見受けられない。今後は，学位プログラムにおいて英語系と社会系それぞれの専門性が担保できるよう，教育課程の見直しを検討いただきたい。
- 「教職に関する科目」について，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目や，科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目名称があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに，科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように，内容を再度検討すること。なお，シラバスの記載内容及び記載方針を定め，法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 授業計画において，授業計画に概要やテーマのみを記載している，各授業回を枝番のみで区別しているシラバスが見受けられた。今後は，ファカルティ・ディベロップメントなどを通じて，全学的な体制により，学生が理解しやすいシラバスの作成に努めていただきたい。
- 「教職実践演習」について，これまでの教職課程で学習した事項がどれだけ身につけているかを学生自らが確認するとともに，将来教員となるに当たって必要な課

題を設定し、これを克服させる授業内容となるよう再考すること。また、教職実践演習は、入学の段階からそれぞれの学生の学習内容、理解度等を把握するとともに、学生個別に補完的指導を行うために「履修カルテ」を用いることとしているため、履修カルテの活用について再考すること。

3. 教育実習の取組状況

- 教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めていただきたい。なお、やむを得ず遠隔地の学校や学生の母校における実習を行う場合においても、実習先の学校と連携し、大学が教育実習に関わる体制を構築するとともに、学生への適切な指導、公正な評価となるよう努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教員免許状の取得を希望する学生が少ない現状を踏まえて、今後教職を目指す学生が増えるように、体系的かつ組織的に指導する体制を構築するよう努めていただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 教職に関心のある学生が、学校におけるボランティア活動等を通じて、地元の学校と密接に連携を図っていることが確認された。今後も引き続き、地元教育委員会・学校との一層の連携・協働に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 学習指導要領や各教科の最新の教科書及び教育に関する最新の情報を取り扱う雑誌を充実させるとともに、学生が利用しやすい場所へ配架するなど、図書館環境の充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- ファカルティ・ディベロップメント等を通して、教職課程におけるシラバスの内容を確認・充実させるとともに、教職課程認定基準等の規程の理解、及び教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。
- 松江キャンパスに所在する島根県立大学短期大学部も含めて、大学全体の教職課程について検討を行う組織の設置を検討いただきたい。

